

## 21世紀の日本のかたち（66）

セントラルパーク  
- 都心の森の中の  
2020東京オリンピック・パラリンピック -



戸沼幸市  
＜（一財）日本開発構想研究所 代表理事＞

### 1. 東京オリンピック、1964年と2020年

日本時間の9月8日未明、2020年の夏季オリンピック・パラリンピック開催都市が、イスタンブール、マドリードを抑えて東京に決定しました。トルコの友人は残念がっていましたが、東京の次には是非とも実現してもらおうとして、スポーツ好きな都民の一人として若い肉体の躍動を再び東京で見ることが出来るとうれしいことです。

7年後、新装国立競技場において、どんな演出の開会式が行われるか。3.11の東日本大震災・フクシマ原発問題をどう総括するか。

日本のかたち—伝統と（歴史）と未来、成熟社会の文化と文明をどのように演出するか、興味深いところです。

世界一の長寿国・日本についての表現も面白いテーマでしょう。肉体の強度ではなく、その持続時間の長さ、寿命を争うオリンピック競技があるならば、日本は断然、男女とも団体戦で金、銀、間違いなしです。

私自身、1964（昭和39）年の東京オリンピックの競技会場となった施設の建設や都心の都市計画とも関連して、白黒テレビ観戦ながら、時に手に汗を握りながら見入っていたことを改めて思い出します。

今も記憶に残っているのは、国立競技場で

の開会式、各国旗手を先頭に世界のスポーツの強豪が一堂に会し、大観衆注視の中、聖火が点火され、これから始まるオリンピックゲームへの期待と予感に満ちたあの空気です。

回転レシーブで勝ち抜いた女子バレーボール、東洋の魔女、日本のお家芸、柔道の連戦連勝、無差別級決勝戦での神永昭夫を破ったオランダの巨漢アントン・ヘーシンの戦い、陸上男子100mの黒い弾丸ボブ・ヘイズ10.0秒、まるで妖精のような女子体操のチェコスロバキア、ベラ・チャスラフスカ、そして最終日、国立競技場へ走り込んでくるマラソンのエチオピア、アベベ・ビキラ（金）、円谷幸吉（銅）の姿を改めて思い出します。

1964年の東京オリンピック開催に合わせて、丹下健三さん設計の斬新な国立代々木競技場（第一体育館・第二体育館）、代々木選手村、地下鉄や首都高速道路が次々に造られて行く様子を目の当たりにしておりました。日本自体が東京オリンピックに合わせて高度経済成長へと向かい、東海道新幹線が開通し、スピードを求めて文明化してきました。1964年東京オリンピックは時代を濃密に凝縮しております。

1964年東京オリンピックには、当然、私の子供も孫達も生まれてはおらず、2020年にこ

れを目の当たりにすることになります。

世界のスポーツの強豪が一堂に会するオリンピックを体験するとは、この国や都市の歴史を重ねて、それぞれの自分史にとっての一つの刻み（記憶）として残るものです。

セントラルパーク

## 2. 都心の森の中の2020年東京オリンピック・パラリンピック

世界最大・最高のスポーツ祭典・2020年夏季オリンピック・パラリンピック開催都市を決定するIOC総会における、安倍首相をはじめとする日本側のプレゼンテーションは、3.11東日本大震災・フクシマ原発事故の収束を明言しました。これについて、国はしっかりと対応してもらいたいものです。また、コンパクトな東京都心でのオリンピックの利便性を東京誘致の売りにしています。競技会場は東京湾岸に集中しており、首都直下大地震がささやかれる中、国や都はしっかりと対策を講じてほしいと願います。

これに合わせて、高度経済成長期につくられた高速道路の見直しなどを早急に行うべし、です。1964年時の東京オリンピック開催に合わせて造られた、日本橋（江戸東京の起点）に覆い被さっている首都高速道路については多くの東京人が要望しているように、地下化への段取りを進めたいものです。このままでは成熟都市、東京の面目丸つぶれです。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの主会場となる新国立競技場についても議論が必要になるでしょう。

この国際コンペ当選案（ザハ・ハディド：イギリス）は、神宮の森を圧する様なボリュームで、その姿形もこの土地の風土性、歴史性とかけはなれている印象を受けます。8万

人収容のままのボリュームが必要ならば、出来るだけ地下に沈めて、樹木で覆ってしまえないものでしょうか。

2020年には東京パラリンピックも行われます。パラリンピックでは競技者の見事な運動能力、それを支えている精神力には圧倒されます。選手の活躍は、超高齢社会の老人達をも元気づけてくれます。

パラリンピックの行われる巨大都市東京として、バリアフリーのまちづくり、大量の人々が乗り降りする駅についても、きめの細かい配慮、人間尺度（ヒューマンスケール）のまちづくりを進めてほしいものです。

### オリンピックのロゴ

2020年東京



2016年リオデジャネイロ



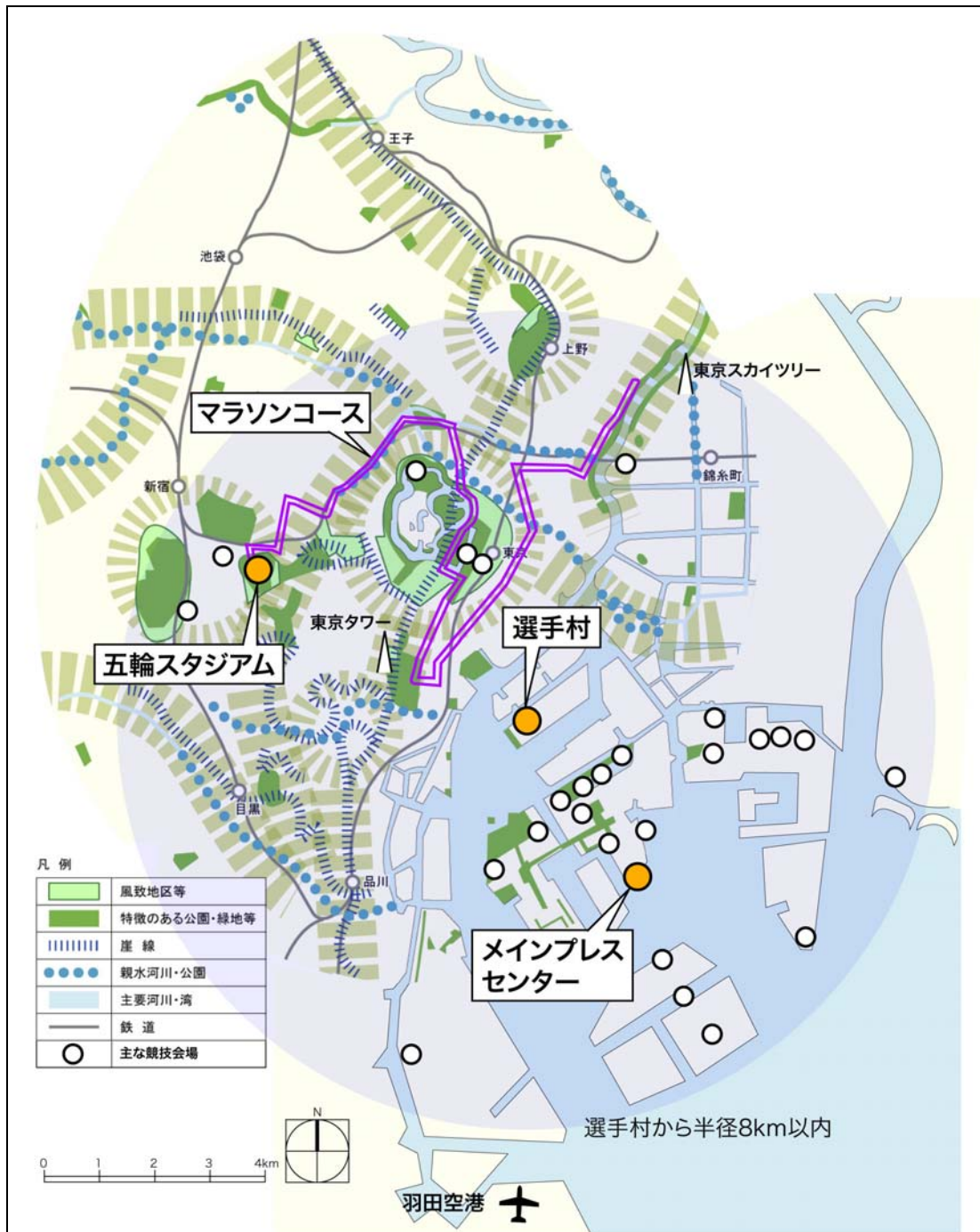
2020年東京オリンピック・パラリンピックの競技会場は、都心と東京港埋立地区であり、緑地・公園の多い場所です。この場所の望ましい地域像として、私などが年来イメージしている「都心の森づくり構想」を2020年東京五輪を含んで一歩進めたいものです。

2020年、東京オリンピック・パラリンピックに関する私のイメージは、リスなど小動物たちも顔を見せる東京都心の森の中で、4年に1度の「地球村の大運動会」を、世界中から集まる観客がひいき筋に肩入れし、盛んに声援を送っている図です。私も子供や孫達と一緒に大いに楽しみたいと思っております。

◆都心の森づくり構想 注

「皇居を含む都心の複合公園群（新宿御苑、明治神宮外苑、赤坂御所、明治神宮内苑、代々木公園、日比谷公園、計400ha）そして野鳥公園などの海浜公園を一体としてエコロジカルコリドール（生態回廊）でつなぎ、この都心の森を動物を含めた生物多様性を高めるためのパークシステムでサポートする構想。」（21世紀の日本のかたち（15）「都心に大きな森をつくる」（2009.3.17）より）

「都心の森」と東京オリンピック・パラリンピック主要競技会場



(2013. 09. 22)